

“人を育てる森”をつくりたい

小さくはじめて、大きく育てる

“平子の森”の遊び場づくり

さあ、一緒にはじめましょう

～平子の森の萌芽的利活用に係る方針～

- 1．これまでの取組
- 2．これまでの利活用の検討経緯
- 3．萌芽的な利活用に向けた夢
- 4．萌芽的な利活用のはじめ方
- 5．萌芽的な利活用の方向性

令和2年10月

企画部企画課

2. これまでの利活用の検討経緯

「平子の森」の利活用については、これまでも様々な角度から検討を重ねてきました。

その中から、今後に向けた「萌芽[※]的な利活用」におけるキーワードとして、「自然（みどり）」、「体感」、「子どもたち」、「魅力や価値の向上」の4つを見出しました。

※ 萌芽…草木の芽のもえ出ること、めばえ、新しい物事が起こりはじめること、物事の起こるきざし

時期	検討内容	結果
平成22年度	市議会特別委員会 ・取得意向の検討	公共施設の建設・仮設用地として有効活用できるため取得を検討
平成25年度	利活用に係る基礎調査	当該地の概況を把握
平成26～27年度	利活用懇談会（6回開催） ・市民アンケートの実施 ・利活用構想案の作成・公表	短期的取組として「市民の当該地への認知度を高める取組」を掲載
平成27年4月	仮設広場の一時利用開始	少年サッカー教室等の利用が継続
平成29～30年度	利活用方法の検討 ・有識者、専門家から意見聴取 ・意見を可視化したイメージコンセプト11案を作成・公表	利活用の3つの方向性（産業活力の創出、都市の魅力向上、新たなライフスタイルの創出） 緑豊かなまちのイメージの継承が課題
平成30年度～	自然環境を活かしたイベント 「平子の森プレーパーク」の開催	参加者（親子）に好評で発展的に継続
令和元年度	先進事例視察	水耕栽培、菌床栽培の可能性 シェアオフィスとしての可能性
	民間事業者ヒアリング	子どもの遊び場としての可能性 フットサル場としての可能性



これからの萌芽的利活用のキーワード

「自然（みどり）」 「体感」 「子どもたち」 「魅力や価値の向上」

3. 萌芽的な利活用に向けた夢

前述のキーワードを踏まえ、「平子の森」の萌芽的な利活用に向けた夢をまとめました。

人を育てる森づくり

この土地はかつて、保育を学ぶ若者を育て、子どもたちを育て、笑顔があふれる場所でした。

この場所が、再び若者や子どもたちの思い出が育まれる場所、人が育つ場所になってほしい。

家族や友人と一緒に、市内外から訪れた方が、「楽しかった」、「よい経験・体験ができた」、「おいしかった」などの小さな感動を持ち帰ってほしい。

家族や友人の絆を深め、この場所の新たなファンができ、将来の本市の活性化に向けた芽になってほしい。

この場所を楽しく使って、この場所の価値を高めていきたい。

豊富な経験やアイデア・ノウハウを持つ市民や民間事業者等と一緒に、訪れた方がワクワクするような場所をつくりたい。

小さな取組からはじめて、少しずつ、大きく育てていきたい。

4. 萌芽的な利活用事業のはじめ方

萌芽的な利活用に向けた夢を実現するため、次のような形で事業をはじめていきます。

小さな取組からはじめます

(1) 小さな取組をはじめめる場所

これまで使われてきた場所を基本に、以下の場所を使用します。

- ・ A区域 平子の森プレーパーク
- ・ B区域 北側オープンスペース+隣接する森
- ・ C区域 旧緑丘小中学校等跡地（仮設広場除く）+旧保育短期大学跡地内テニスコート周辺

(2) 小さな取組の期間（萌芽的な利活用事業の期間）

萌芽的な事業を、できるだけ早くはじめるため、以下の期間を設定します。

- ・ 令和4年度から5年間程度

(3) 小さな取組に関わる人（萌芽的な利活用事業のターゲット）

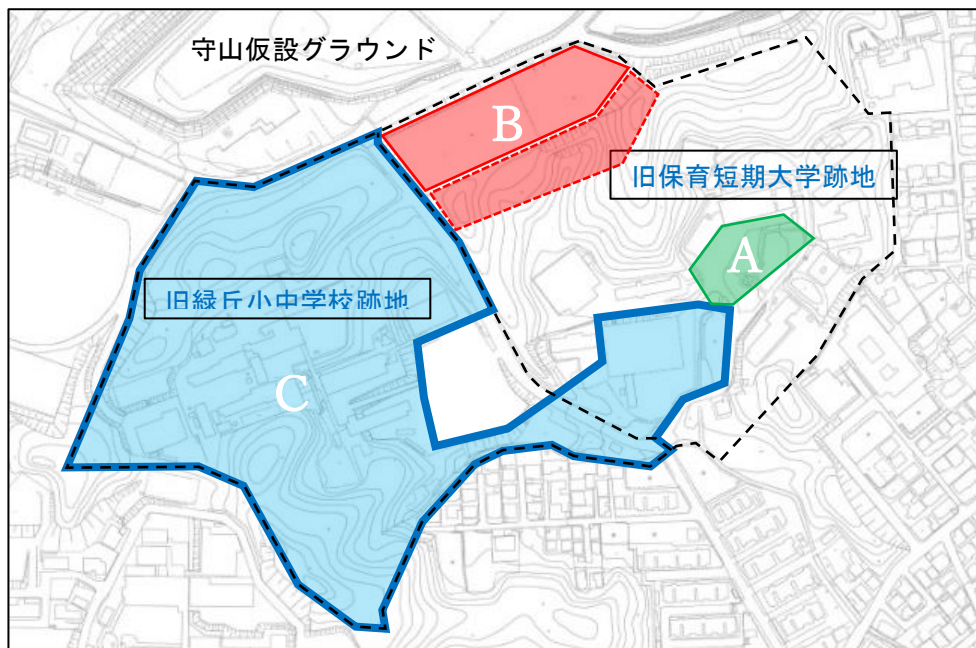
- ・ A区域 市民を対象に、子どもや多世代の大人をメインターゲットとします。
- ・ B区域 市内外の方を対象に、家族や若者をメインターゲットとします。
- ・ C区域 民間事業者等をターゲットとして、市が主体的に活用します。

(4) 小さな取組のはじめ方

- ・ A区域 市民と一緒に、現在の取組の発展や拡大をめざします。
- ・ B区域 民間事業者等と一緒に、萌芽的な利活用策を検討していきます。
- ・ C区域 産学行政の連携によって、利活用の可能性を模索していきます。

(5) 留意事項

- ・ 今ある自然や土地の形状をいかします。
- ・ 必要最小限の費用のもとで、事業を実施します。



5. 萌芽的な利活用の方向性

(1) A区域について

A区域では、これまで市内の子どもたちを対象として、「平子の森プレーパーク」というイベントを実施してきました。

この小さな取組が今後発展・拡大していき、子どもたちが自分で考え、工夫し、チャレンジできる遊び場へと育っていったほしい。

また、さまざまな世代の大人たちにも、「遊びの知恵」を子どもたちへ伝えたり、元気に「遊び場づくり」や「運営」に関わったりしてほしい。こんなことが実現すれば、今よりも、もっと楽しくなると思います。

このため、遊び場づくりや運営に協力していただける市民を募集し、市民と一緒に、子どもたちがのびのびと自由に遊べる環境づくりをはじめます。

◎ 萌芽的利活用の方向性

市民とともに、多世代が関わる「自由な遊び場」をつくります。

(2) B区域について

B区域では、旭労災病院の建替工事に協力するため、北側オープンスペースを民間事業者に貸していました。

自由度の高いオープンスペースや隣接した森林の使い方は、豊富なアイデア・ノウハウを持つ民間事業者等と一緒に考えることで、魅力的な取組につながる可能性があります。

市内外から人が訪れ、「楽しい」「おいしい」「初めての体験」など、小さな感動を持ち帰ってほしい。子どもや若者が自然とふれあい、思いっきり体を動かせる場所にもなってほしい。こんなことが実現すれば、この土地のファン、尾張旭市のファンが、きっと増えると思います。

このため、民間事業者から短期的利活用事業の提案を募集し、事業の実施を通してこの場所の市場性や利用者ニーズ等を把握し、さらなる利活用の検討を進めていきます。

◎ 萌芽的利活用の方向性

民間事業者等とともに、家族や友人と訪れる「魅力的な遊び場」をつくります。

(3) C区域について

C区域では、これまで特段の利活用は実施されてきませんでした。

テニスコート跡地や旧校舎等のほか、周辺の森林の使い方は、豊富なアイデア・ノウハウを持つ民間事業者等とともに一緒に考えることで、魅力的な取組につながる可能性があります。

ここでいくつもの新たな取組が始まり、交流を通じて化学反応が起き、地域の発展にもつながってほしい。こんなことが実現すれば、この土地の利活用の可能性がさらに拡大すると思います。

このため、民間事業者やNPO法人等と協議会を結成し、共同で各種の取組を展開することによって、この場所の市場性や利用者ニーズ等を把握し、さらなる利活用の検討を進めていきます。

◎ 萌芽的利活用の方向性

民間事業者やNPO法人等とともに、この土地が持つ「利活用の可能性」を模索します。